

編集 後記

今年も残すところ僅かになりました。21世紀の最初の年、国内外に激震が走りました。

9月に発生した米国同時多発テロ、それに続くアフガニスタン空爆、炭疽菌テロと、米国を中心として世界が大きく動いています。多くの会員の方が海外への出張をキャンセルされたのではないのでしょうか。第2次世界大戦後、国境を持たない島国であることも幸いして、危機管理の世界水準から遠ざかっていた我国も、ことの是非を十分に検討する余裕もなく、グローバルスタンダードの対応を求められ、右往左往しています。相前後して問題となっている狂牛病、病原性CJ病への対応も英国（EU諸国）をはじめとするグローバルスタンダードとはほど遠いものです。我国の構造改革は断行できるのでしょうか？

教育界では、1989年にアングロサクソン系（英語圏というべきか）諸国を中心に技術者教育の質的同等性を国境を越えて相互に承認し合うワシントンアコードが締結されています。我国では、

JABEE（日本技術者教育認定機構）なる組織が1999年に設立され、理・工・農学系大学での技術者教育の国際的同等性を確保しようとプログラムの認定を行い、将来的にはワシントンアコードへの加盟を目指しています。医歯学系も、昨年来、モデル・コアカリキュラム、共用試験と動きを加速し始めています。

巻頭言では、瀬川先生より各大学で進められている研究活性化を目指した制度改革の是非と必要性が指摘されています。本号には、実験動物を個体として取扱う技術講座が2編掲載されています。生理学を生理学たらしめる確たるものとして継承しなくてはならない研究技術です。また、本年度の常任幹事会や総会議事録が掲載され、グローバル化に取り組む真摯な姿勢が示されています。生理学会は変わりつつあります。2009年のIUPS開催を一つの里程碑として変わらなくてはなりません。

（高松 研）

*編集執行委員

編集委員

| | |
|---------------------|-----------------|
| *金子 章道（編集幹事）（感覚） | 青木 藩（呼吸） |
| 小野田法彦（感覚） | 河南 洋（自律神経、内分泌） |
| *工藤 典雄（運動、発生・成長・老化） | 窪田 隆裕（腎・体液） |
| 黒島 晟汎（環境） | *小西 真人（筋） |
| 佐久間康夫（生殖） | *佐々木成人（運動） |
| 高田 明和（血液） | 菅屋 潤壹（栄養・代謝・体温） |
| *高松 研（神経化学） | 土居 勝彦（心臓・循環） |
| *入來 篤史（感覚、運動、高次中枢） | 成瀬 達（消化・吸収） |
| 辻岡 克彦（循環） | *川上 順子（感覚） |
| 村上 政隆（膜輸送） | 福田 淳（感覚、高次中枢） |
| 小山 なつ（HP担当） | 吉岡 利忠（体力） |

日本生理学会事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-10 布施ビル
TEL：03-3815-1624 FAX：03-3815-1603（勤務時間10：30～18：30）
E-mail：psj@qa2.so-net.ne.jp
URL：http://wwwsoc.nii.ac.jp/psj/